

住まいの価値を実感する、アンソホームの家。

「地震に強い家」 耐震等級最高クラスの 家族が「安心・安全に暮らせる家」

アンソホームの家づくりでは、“耐震等級「3」相当”と“直下率70%以上”という2つの設計基準と耐力壁と柱の位置を予め検証し、長期耐震性の確保に努めています。素材においても独自の基準を満たす資材のみを使用し、建物の耐久性を高めています。例えば杉柱の場合、含水率上限15%、ヤング係数E-70以上という品質基準を設けて全数検査を実施しています。



※耐震等級「3」とは、建築基準法の1.5倍の耐震性能とされています。

※耐震等級「3」相当とは、耐震等級「3」が取得できる基本設計であることを株式会社千金堂が確認認証するものであり、日本住宅性能評価機構による性能評価適合を保証するものではありません。同機構の評価を受ける場合は別途申請料が必要になり、事前に申し込みが必要です。

耐震最高等級3相当で 家族の命を守る強固な構造

1階と2階の耐力壁と柱の直下率を70%以上確保したバランスが良く地震に強い構造で、家族の暮らしを守る家。厳格な基準を設けた構造材で長期耐久性を確保しています。



全棟「耐震最高等級3相当」が標準。2階床は建物のねじれを防ぐ「剛床工法」を採用。



「ご家族が主役の家づくり」

アンソホームは、家づくりを通して「5年後、10年後の将来をご家族様がどのように暮らしておきたいか」を話し合うきっかけを提供できればと考えています。家は工業製品ではありません。ですから、住宅会社の押しつけであってはなりません。アンソホームでは、ひとつひとつ異なるご家族の個性を生かせるよう、まずはご家族様が話し合っていたくためのテーマをご用意し、丁寧に打ち合わせを重ねてまいります。まさに、オーダーメイドの家づくりです。



良い家づくりは ヒトづくりから

アンソホームでは、家づくりに携わるヒトの育成にも努めています。職人たちは施工技術向上のために定期的な研修に参加し、現場のマナーをはじめ、店舗スタッフも家づくりにおける知識を深めています。ご家族の安全を守る「防犯設計・提案」もスタッフ育成の一例です。本当に安全で安心な家づくりのために、アンソホームは常に学ぶ姿勢を持ち続けています。



家族の暮らしを守る「予知防犯」

家族を守る「防犯デザイン」でさらに安全な暮らしへ

“防犯意識”が大切。 犯罪者に狙われにくい住まい方をご提案

監視カメラや赤外線センサーを設置しても、ピッキングに強い鍵に交換しても、警備会社と契約しても、そこに住まう人に隙があれば犯罪者に狙われてしまいます。アンソホームでは一般社団法人日本防犯学校学長 防犯アナリスト 梅本正行氏監修のもと、犯罪に狙われにくい住宅づくりだけでなく犯罪者に隙を見せない住まい方までご提案して『家族が安心して生活できる家づくり』を行っています。



犯罪者が「入りたくない・入りにくい・ 入れない」家づくり

住宅侵入犯罪を未然に防ぐためには“犯罪の種類と手口”を知り、“犯罪者の心理や行動”を読むことが必要です。そして、被害に遭いやすい家か、犯罪が起きやすい環境かを見極めた上で「音・光・目・時間・通報」を駆使した“5つの対策”を講じます。被害に遭ってから対策を講じては手遅れです。被害に遭わないために、犯罪者が「入りたくない・入りにくい・入れない」対策をすることが、最も重要なのです。



6/8sat. 9sun. 10:00-17:00

野洲市近江富士1丁目 構造見学会会場案内図



完成した今回のお家を
ぜひご覧ください！

完成見学会 住まいのお誕生会 開催予定

2019年9/14(土)15(日)16(月)

10:00~17:00

株式会社アンソホーム



0120-05-3005

http://www.anso.jp

アンソホーム 検索

見学会予約は
こちらから▶



近江八幡市江頭町455番地

●(一社)日本防犯学校 滋賀支部 ●(公社)滋賀県防犯協会 賛助会員 ●滋賀県防犯設備士協会 正会員 ●建設業/滋賀県知事(般-30)第42242号